

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年10月26日まで（2011年6月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	US成長株オープン（円ヘッジありコース）	US・グロス・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券およびマネー・ポートフォリオマザーファンド受益証券
	US・グロス・ストック・ファンド（JPYクラス）	米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・ポートフォリオマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を実質的な主要投資対象とします。</li> <li>・原則として、米ドル建資産に対して、円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・公社債に係る運用の指図は、債券買現先取引（売戻条件付の買入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）以外は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分配方針	毎年4月26日および10月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 償還報告書（全体版）

[満期償還]

# US成長株オープン （円ヘッジありコース）

信託終了日：2021年10月26日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「US成長株オープン（円ヘッジありコース）」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金配分	み騰落				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
17期(2019年10月28日)	19,217	0	△ 2.6	—	—	98.1	608
18期(2020年4月27日)	19,962	0	3.9	—	—	98.2	568
19期(2020年10月26日)	27,133	0	35.9	—	—	98.0	649
20期(2021年4月26日)	31,086	0	14.6	—	—	96.7	603
(償還時)	(償還価額)						
21期(2021年10月26日)	32,030.04	—	3.0	—	—	—	144

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
	円 銭	%	%	%	%
(期首) 2021年4月26日	31,086	—	—	—	96.7
4月末	31,165	0.3	—	—	98.0
5月末	30,098	△3.2	—	—	98.1
6月末	31,968	2.8	—	—	98.0
7月末	32,743	5.3	—	—	97.9
8月末	33,312	7.2	—	—	98.0
9月末	31,993	2.9	—	—	97.1
(償還時)	(償還価額)				
2021年10月26日	32,030.04	3.0	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

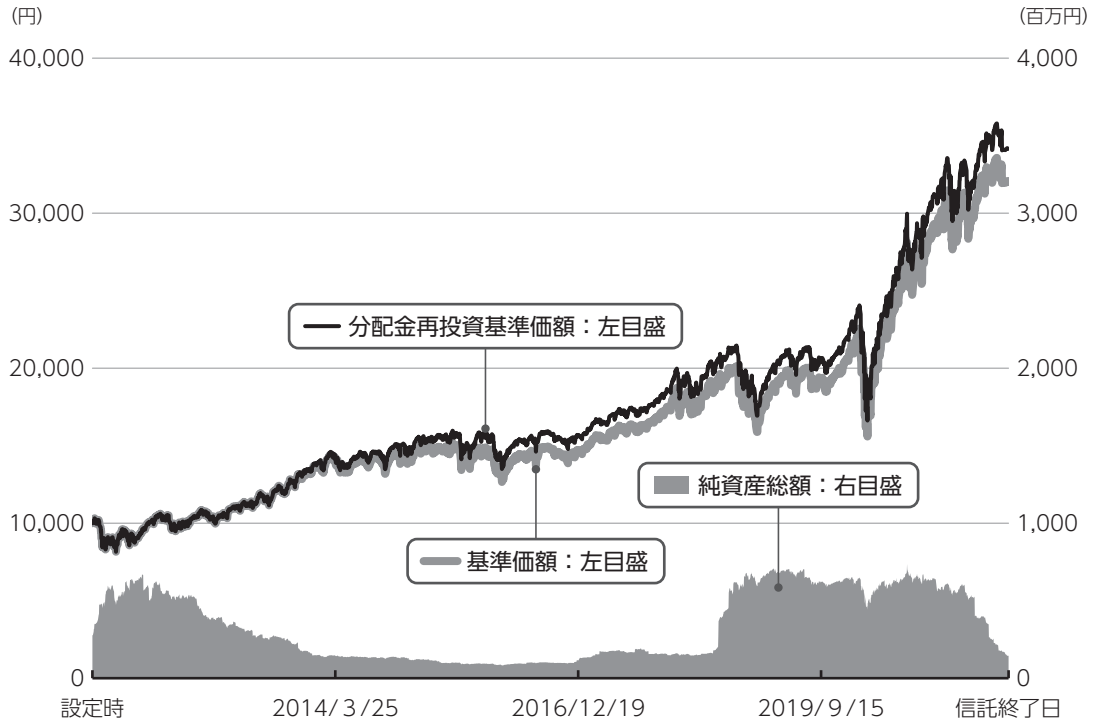
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第1期～第21期：2011年6月30日～2021年10月26日

## ▶ 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第21期末	32,030.04円
既払分配金	900円
騰落率	241.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ241.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## > 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

2021年9月下旬に全売却を行うまでは情報技術関連銘柄（MICROSOFT CORP、APPLE INCなど）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第1期～第21期：2011年6月30日～2021年10月26日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況 信託期間を通してみると、米国株式市況は上昇しました。

設定時から2014年10月にかけては、欧州債務問題などを背景に下落する局面があったものの、主要先進国による金融緩和姿勢の継続や米国を含む世界的な景気回復などを背景に上昇しました。

2014年11月から2017年10月にかけては、中国経済の減速に対する懸念などを背景に下落する局面があったものの、米大統領選でのトランプ氏の勝利を受け、規制緩和や減税など経済政策への期待が高まったことなどから上昇しました。

2017年11月から2019年10月にかけては、米中対立の激化や米政府機関の一部閉鎖に対する懸念などから下落する局面があったものの、その後の米中通商協議に進展の兆しが見られたことや米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が高まったことなどを背景に上昇しました。

その後は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に経済活動が停滞することへの懸念が高まったことなどから大きく下落する局面があったものの、各国中央銀行による積極的な金融緩和や各国政府による支援策、同ウイルスのワクチン

開発と接種拡大に伴う景気回復期待の高まりなどを背景に上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場 コール・レート（無担保・翌日物）は0%前後で推移しました。

設定時から2016年1月までのコール・レートは、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、おおむね0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下のコール・レートは-0.026%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ US成長株オープン（円ヘッジありコース）

信託期間を通じて、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資も行いました。

第21期（2021年4月27日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、満期償還に向け、2021年10月後半に、US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券の組入比率をゼロにしました。

### ▶ US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）

信託期間を通じて、主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行いました。

時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行うとともに、米ドル建資産に対して、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行いました。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長

基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行いました。

第21期（2021年4月27日～信託終了日）は、ファンド償還に向けてファンドの精算作業を行うため、2021年9月下旬に、保有資産を売却し、安定運用に切り替えました。

### ▶ マネー・ポートフォリオ マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第5期から第6期は各150円、第7期から第9期までは各200円の分配とし、その他の期は見送りとさせていただきます。信託期間中、累計で900円の分配を行わせていただきました。

## ▶ 償還価額

### ▶ US成長株オープン（円ヘッジありコース）

償還価額は、32,030円04銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2021年4月27日～2021年10月26日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	190	0.598	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(61)	(0.194)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(123)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.006	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	192	0.604	

期中の平均基準価額は、31,707円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

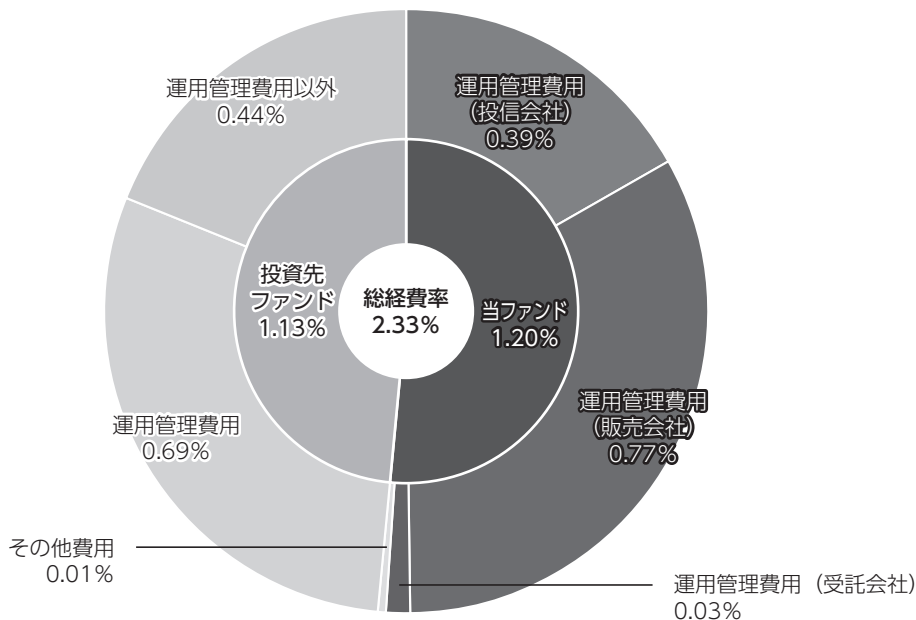
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.33%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.33
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.44

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月27日～2021年10月26日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）	千口 33,446	千円 56,945	千口 353,082	千円 603,746

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・ポートフォリオ	マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 3,186	千円 3,188

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月27日～2021年10月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年10月26日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
	US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）	千口 319,635	千円 319,635
	合 計	千口 319,635	千円 319,635

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
	マネー・ポートフォリオ マザーファンド	千口 3,186	千円 3,188

○投資信託財産の構成

(2021年10月26日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 147,224	% 100.0
投資信託財産総額	147,224	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2021年10月26日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	147,224,040
コール・ローン等	147,224,040
(B) 負債	2,515,852
未払解約金	473,636
未払信託報酬	2,023,282
未払利息	262
その他未払費用	18,672
(C) 純資産総額(A-B)	144,708,188
元本	45,178,903
償還差益金	99,529,285
(D) 受益権総口数	45,178,903口
1万口当たり償還価額(C/D)	32,030円04銭

<注記事項>

期首元本額 194,186,040円  
 期中追加設定元本額 4,428,041円  
 期中一部解約元本額 153,435,178円  
 また、1口当たり純資産額は、期末3,203004円です。

○損益の状況 (2021年4月27日～2021年10月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,010,155
受取配当金	19,013,408
支払利息	△ 3,253
(B) 有価証券売買損益	△12,722,642
売買益	7,525,892
売買損	△20,248,534
(C) 信託報酬等	△ 2,041,954
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,245,559
(E) 前期繰越損益金	50,499,907
(F) 追加信託差損益金	44,783,819
(配当等相当額)	( 39,422,742)
(売買損益相当額)	( 5,361,077)
償還差益金(D+E+F)	99,529,285

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年6月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年10月26日		資産総額	147,224,040円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,515,852円
				純資産総額	144,708,188円
受益権口数	277,440,637口	45,178,903口	△232,261,734口	受益権口数	45,178,903口
元本額	277,440,637円	45,178,903円	△232,261,734円	1万円当たり償還金	32,030円04銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	579,432,212円	533,968,149円	9,215円	0円	0.0%
第2期	539,088,814	559,131,177	10,372	0	0.0
第3期	369,548,852	378,224,209	10,235	0	0.0
第4期	244,977,510	276,135,956	11,272	0	0.0
第5期	144,515,107	188,528,796	13,046	150	1.5
第6期	102,070,619	136,080,226	13,332	150	1.5
第7期	95,212,559	131,854,647	13,848	200	2.0
第8期	77,453,877	114,638,284	14,801	200	2.0
第9期	64,867,549	94,244,313	14,529	200	2.0
第10期	65,716,791	94,611,259	14,397	0	0.0
第11期	68,493,795	98,118,177	14,325	0	0.0
第12期	110,653,696	175,019,638	15,817	0	0.0
第13期	94,413,989	155,580,104	16,479	0	0.0
第14期	85,431,357	146,852,207	17,189	0	0.0
第15期	334,701,716	610,308,936	18,234	0	0.0
第16期	354,165,885	698,997,180	19,736	0	0.0
第17期	316,886,194	608,963,137	19,217	0	0.0
第18期	285,020,403	568,948,824	19,962	0	0.0
第19期	239,403,398	649,567,680	27,133	0	0.0
第20期	194,186,040	603,639,624	31,086	0	0.0

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	32,030円04銭
----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。